

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

| | | | | | |
|-------|---------------|--------|---|---------|-----------------------|
| 都道府県名 | 鹿児島県 | 事業実施主体 | 鹿児島県、伊佐市、さつま町 | 地域再生計画名 | 地域の魅力的な資源を生かしたまちづくり計画 |
| 計画期間 | 平成27年度～平成32年度 | 評価責任者 | 鹿児島県農地保全課長、鹿児島県かごしま材振興課長、伊佐市林政課長、さつま町建設課長 | | |

| | 指標 | | 基準値 | | 中間目標値 | | 最終目標値 | | 中間評価 | 中間目標値の実現状況に関する評価 | |
|------------------------------|--|----------------|---|-----------|---------|--|--------|--------|------|------------------|--|
| | | | 基準年度 | | 年度 | 中間実績 | 基準年度 | | | | |
| ①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況 | 指標 1 | 観光客入込者の向上 | 2,229人 | H25 | 2,285人 | H29 | 3,783人 | 2,340人 | H32 | ○ | 道路整備による観光施設へのアクセス向上により目標を大きく上回る形で達成できた。 |
| | 指標 2 | 素材（木材）生産量の向上 | 150千㎡ | H25 | 154千㎡ | H29 | 286千㎡ | 158千㎡ | H32 | ○ | 林道整備やそれに通じる市道整備、木材輸出量の増加を目指した木材利用推進事業などの施策の効果により、素材（木材）生産量が大幅に増となった。 |
| | 指標 3 | 農道における保全対策の推進率 | 0% | H27 | 25% | H29 | 18.2% | 100% | H32 | △ | 農道保全対策は平成28年度に採択され、中間年度で開始から2年しか経過していないため、目標を下回るものとなった。 |
| ②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況 | 指標 1 | 木材生産額の増 | 13.7億円 | H27 | 14.1億円 | H29 | 26.1億円 | 14.4億円 | H32 | - | 林道整備による効果として未間伐地域へのアクセス改善が図られた結果、木材生産額の増となった。 |
| | | | | | | | | | | | |
| ③事業の進捗状況 | 事業名 | | 整備量（その他の事業では取組内容） | | | 事業の進捗状況に関する評価 | | | | | |
| | | | 計画 | 中間年度（H29） | 最終実績見込み | | | | | | |
| 特別措置を適用して行う事業 | 市道整備事業（整備延長） | | 5.8km | 3.3km | 5.8km | 観光地へ経由する町道の整備により各観光施設へのアクセス向上につながったと考えている。しかし、計画路線のうち地元調整等により整備が多少遅れている路線もあるため、更なる観光客入込者数の増加を図るために、残りの路線についても観光施設等へのアクセス向上のために引き続き整備を行いたい。 | | | | | |
| | 林道整備事業（整備延長） | | 17.1km | 8.1km | 17.1km | 地元調整等に時間を要したため、若干の遅れは生じているが概ね計画どおりの進捗となっている。林道整備が実施された地域においては、森林へのアクセス改善が図られ木材生産量が増加傾向となっているが、未整備区間にはまだ間伐対象森林が残っているため、引き続き整備を行いたい。 | | | | | |
| | 農道整備事業（整備地区） | | 3.2km | 0.3km | 3.2km | 測量設計、地元調整等に時間を要しているため保全対策の進捗が遅れている。営農団地を接続する農道として地元要望が強い路線であることから、残りの2.9kmほどの未整備区間の早期完成を目指し、農産物の品質向上、農業交通及び一般交通車両の安全対策を図りたい。 | | | | | |
| その他の事業 | 社会資本整備総合交付金事業（さつま町） | | 町道整備 | | | 魅力的な住みよいまちづくりを実現するため町道の整備を実施していきたい。 | | | | | |
| | 防災・安全交付金事業（さつま町） | | 町道整備 | | | 地域における総合的な生活空間の安全確保を図るための町道整備を行いたい。 | | | | | |
| | 森林整備・林業木材産業関連事業（公共、非公共） | | 間伐材の生産促進対策を実施するとともに、路網整備や高性能林業機械等の基盤整備を推進 | | | 多様で健全な森林づくりと林業・木材産業の再生を図るため、林業関係の補助事業、交付金事業、基金事業を活用し、木材生産量の増大を目指すとともに、引き続き様々なプロジェクトを実施し、北薩・伊佐地域の林業再生に向けた取組を強化する。 | | | | | |
| ④評価方法 | 数値指標（指標）の達成状況により評価するほか、関係者に対して計画の達成状況等に関するヒアリングを行った。 | | | | | | | | | | |
| ⑤中間評価の公表方法 | 鹿児島県、伊佐市、さつま町のホームページに掲載 | | | | | | | | | | |
| ⑥計画全体の総合評価 | 本地域再生計画では、町道整備、林道整備、農道整備を一体的に実施し、地域間のアクセス向上と通行車両の安全確保や環境改善を図ることにより、観光入込者数や通行時の安全性の向上などの効果が発現できている。また、豊富な森林資源を有する山間部においては林道整備と合わせて林業関係プロジェクトが実施され地域の木材生産量の向上が図られている。本計画のテーマである「地域の魅力的な資源を生かした街づくり」のとおり、各種道路整備により観光や農産物・木材などの資源が有効活用されつつあり、概ね計画目標どおり進んでいる。 | | | | | | | | | | |
| ⑦今後の方針等 | 本地域再生計画においては、概ね円滑に整備が進んでおり、引き続き事業の推進を図れば最終目標値もほぼ達成できると見込まれる。事業の進捗状況については、地元調整や測量設計等により整備が多少遅れている路線もあるため、地元への本計画の趣旨のさらなるPRも含めて事業を推進していきたい。また、更なる観光客入込者や木材生産量の向上を図るために、観光情報発信の強化等観光推進事業、地域の特産物のPR、林業従事者の育成等ソフト対策も一層強化していきたい。 | | | | | | | | | | |